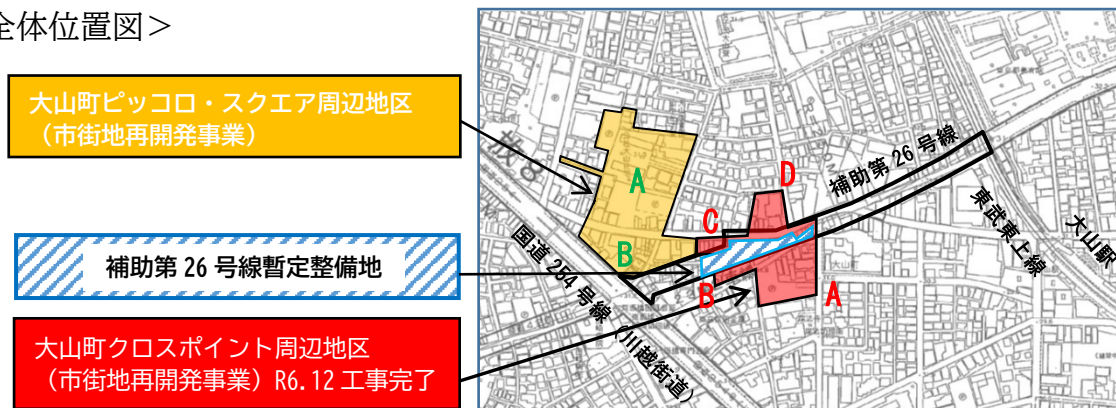


大山駅周辺のまちづくりの状況について

1 大山町ピッコロ・スクエア周辺地区市街地再開発事業

<全体位置図>



【事業概要】

市街地再開発事業により、補助第26号線の西側地域に人の流れを引き込み、交流・にぎわいを維持するため、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新による拠点の形成を図る。

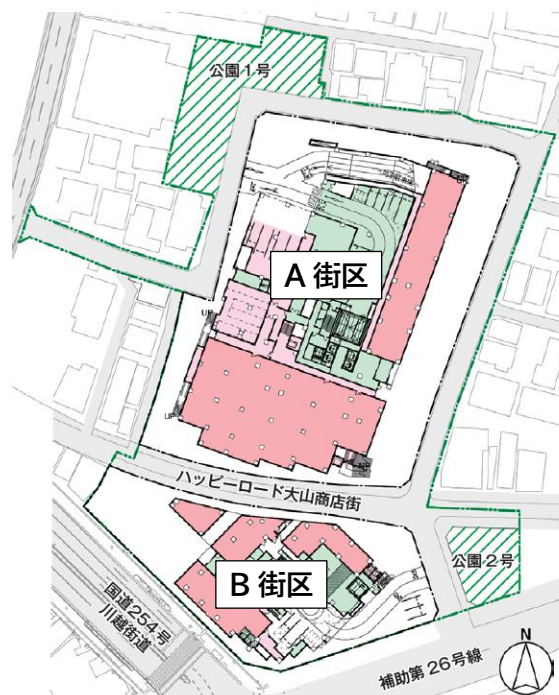
【経緯と今後の予定】

令和3年度 都市計画決定
令和5年度 組合設立認可
令和7年度 権利変換計画認可申請
令和8年度 権利変換計画認可、工事

【計画概要】

区画面積	約 1.3ha	
街区区分	A 街区	B 街区
延床面積	約 40,530 m ²	約 29,690 m ²
高さ	107m	107m
階数	地上 28 階/ 地下 1 階	地上 28 階/ 地下 1 階
主要用途	住宅、店舗、 駐車場 等	住宅、店舗、 駐車場 等
住戸数	324 戸	247 戸

<配置図>



<完成イメージ>



配置図及び完成イメージは大山町ピッコロ・スクエア周辺地区パンフレットより引用

2 公共空間を活用した地域の交流やにぎわい創出に向けた取組

大山駅西地区では、地域主体の共創によるまちづくり組織「空間活用計画部会」が中心となり、再開発や道路事業等で新たに創出される公共空間（広場・公園・道路等）を活用した公民連携による実証実験を実施し、地域の交流やにぎわい創出に取り組んでいる。

クロスポイント再開発で整備された広場



補助第26号線暫定整備地



公共空間を活用した実証実験(R7.8.24)



公共空間を活用した実証実験(R7.10.26)



3 大山駅の駅前広場

【事業概要】

補助第26号線の整備や東武東上線の鉄道立体化を見据え、各交通機関への乗り換え利便性の向上を目的に駅前広場の整備を行う。

令和7年度末時点の用地取得率は約15%(5画地)となり、今年度も引き続き用地折衝を行っていくとともに、関係機関等との協議を進め事業の進捗を図る。

なお、東京都が事業主体で進めている連続立体交差事業は、令和6年11月に東武鉄道が工事説明会を開催し、現在、準備工事に着手している。

大山駅の駅前広場



名称	東京都市計画道路事業 区画街路 板橋区画街路第9号線	
規模	取付道路部分	延長 23m、幅員 16m、2車線
	交通広場	面積 3,348 m ²
経緯	都市計画決定	令和元年 12月
	事業認可	令和3年 12月